

# 12月定例会 委員会の審査報告

12月定例会中の総務常任委員会、市民環境常任委員会、建設水道常任委員会、文教福祉常任委員会が審査した内容について、その一部をお知らせします。

## 市民環境 斎場再整備計画の契約手続き完了

### <平成19年8月新葬祭棟供用開始>

**【審査項目】**

●議案第89号 宇治市斎場葬祭棟新築ほか改修建築工事の請負契約を締結するについて

●議案第90号 宇治市斎場火葬炉増設工事の請負契約を締結するについて

市から次のとおり説明が行われた。

これらの議案は斎場再整備に伴う新葬祭棟新築、改修建築工事及び火葬炉増設工事の入札等の手続き完了により請負契約を締結するものである。平成19年1月から新葬祭棟新築工事を開始し、8月に供用開始する。また、現在の葬祭棟を新待合棟に改修する工事及び現在の待合棟、火葬棟及び中庭の改修を順次行う。火葬炉については現在の6炉から8炉へ増設する工事を平成19年1月から5月にかけて行い、その後既存の炉も2炉



▲完成イメージ図

づつ更新し平成21年2月、工事完了を予定している。

これに対し委員から、入札結果の詳細、火葬炉の事故や故障への対応、炉の排気のダイオキシン発生への対応や耐用年数についての質疑及び斎場内の照明の改善、段差解消雨ざらしの待合廊下の改善、駐車場の整備、舗装等、参列者や利用者のニーズに応え、利便性の向上を図る再整備にすべきとの指摘が行われた後採決が行われ全会一致で2議案は可決すべきものと決した。

## 総務 市職員の給与・退職手当改正

### <国家公務員の給与構造改革に準じた内容に>

**【審査項目】**

●議案第92号 宇治市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて

●議案第93号 宇治市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて

市から次のとおり説明が行われた。

これらの議案は、平成17年人事院勧告を受けて実施された、国家公務員のいわゆる給与与構造改革に準じた内容により、本市職員の給与・退職手当の改正を行うものである。

主な内容は、民間賃金水準の格差を踏まえての俸給水準の引下げ、給与の年功的な上昇の抑制、職務・職責と実績を十分に反映し得る査定昇給の導入を前提とした俸給構造への転換等である。



これに対し委員から、給料表の8級制をとる理由、昇給日を4月1日とする等国基準と異なる理由、ラスパイレース指数への影響、早期退職者の退職金の優遇の程度、昇給時の「良好な成績」の判断内容退職手当算定に係る看護(介護)・休暇期間の取扱い、公務員給与の考え方、団塊の世代退職後の業務体制等について質疑が行われた。

その後、採決が行われ、全会一致で2議案とも可決すべきものと決した。

## 建設水道 宇治橋通りの道路設計を報告

### <歩行空間を確保し電線地中化へ>

**【審査項目】**

●報告 宇治橋通りの整備取り組み状況について

市から次のとおり説明が行われた。

宇治橋通りは、買い物客や観光客などの歩行者と自動車が道幅の狭い中で混雑している。この状況を改善するため、京都府が宇治橋通り整備基本計画を基にした道路詳細設計をこの度まとめ、地元への説明会を実施し、可能なものから工事着手を行う予定である。

事業の概要は、①宇治橋通りを車両の荷さばきスペースの確保もできる車道幅員を5m、その他の区間の車道幅員を3m、歩行空間の確保の整備と電線の地中化。②府道宇治小倉停車場線の車道幅員の再整備。③府道宇治停車場線を車道幅員5m、歩行空間の確保の整備と電線の地中化な



▲宇治橋通り

のである。

これに対し委員から、宇治橋通り整備基本計画が今回の道路設計のカラー舗装に変わった経緯、黄色のカラー舗装のイメージ、平等院通りとの整合性、景観行政団体としての宇治市の考え方、整備検討委員会の結論がどのように生かされたのか、市が将来求める宇治橋通りのイメージ、市や地元の意見の反映、デザイン構図や宇治市の色、まちづくり全体としての観点などについて質疑が行われた。

## 文教福祉 視覚障害者の移動支援、費用減免を

### <請願を全会一致で採択>

**【審査項目】**

●請願第18-7号 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業にかかる身体介護を伴わない移動支援の費用減免についての請願

請願の趣旨について議会事務局から次のとおり説明が行われた。

平成18年10月から全面施行となった障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業において、劣悪な交通環境のもと、視覚障害者が移動支援を要請するのは、安全・安心を確保する必須条件である。地域生活事業に位置づけられた身体介護を伴わない移動支援事業は、日常生活を営むうえで基本である。よって、この点を配慮のうえ、利用負担の減免を強く求める。

これに対し委員から、市に対し自治体と比較した場合の



生活支援事業の利用者負担の状況、生活支援事業への更なる利用者負担軽減策の検討、移動支援事業の具体的支援策、視覚障害者ガイドヘルプ事業の利用者負担の沿革、支援費制度以前の移動支援事業での利用者負担の有無、制度開始後の移動支援事業の利用者数と利用料等の質疑が行われた。

次に日本共産党宇治市会議員団委員から賛成討論が行われ、採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決した。

## 行政視察の報告 建設水道常任委員会の実施した先進地への行政視察について報告します。ホームページの中でも掲載していますので、是非ご覧ください。

### 建設水道常任委員会

街づくりが行われていました。



▲金沢市議会での説明を受ける委員会

【富山県富山市】

●日程  
11月20日から22日

●視察先・視察項目  
【福井県大野市】

①インフィル型市営住宅の整備について

中心市街地が増えた空き地や空き家をうめる形(インフィル型)で景観に配慮した市営住宅を建設し、街中の活性化が図られていました。

②地下水水位低下防止策について

市街地の湧き水「御清水」は観光名所になっているが、地下水位の低下が年々進んできたため、地下水涵養対策として人口涵養池の造成などの対策が講じられていました。



▲まわりの景観に配慮し建てられた市営住宅

【石川県金沢市】

①まちなか駐車場について  
中心部への過度な自動車の流入を抑制し、歩行者の安全性を確保するため、街中で駐車場を新設または変更する場

●視察人員  
委員8名、市執行部2名、議会事務局2名 計12名

②金沢オムニバスタウンの創造について  
高齢化の進展により、自動車運転できない人々が増加したため、バス停のバリアフリー化などを基軸とした



▲LRTに乗車した委員

文化施設観覧の際の利便性を確保し、観光客に1館でも多くまわってもらうことを目標に、市内の博物館や美術館を専門に巡回する無料バスが運行されていました。

②富山ミュージアムバスについて  
文化施設観覧の際の利便性を確保し、観光客に1館でも多くまわってもらうことを目標に、市内の博物館や美術館を専門に巡回する無料バスが運行されていました。